

外国人向け講座人気

日本語・専門用語・ビジネスマナー

徳島県労働者福祉協議会(労福協)が介護現場での就労を希望する外国人向けに開いている日本語や介護専門用語、ビジネスマナーなどの習得講座が人気だ。ホームヘルパーの資格を取得し、即戦力として長期的な就労を目指す人も。慢性的な人手不足に陥っている介護業界も歓迎している。

労福協では2009年 ぐびあ徳島で平日に開か度「介護の日本語講座」を開講し、受講者は4年間で5カ国33人、12年度は過去最多の11人になる。アジア出身で日本人と結婚し、就労を希望する女性が多い。

講座では「かがむ」「車いすを押す」といった動作、病名、介護用具などの読み書きや意味を覚えるほか、お年寄りとの接し方や職場でのコミュニケーション、報告書の作製方法を計120時間かけて学ぶ。徳島市昭和町3のヒューマンわー

希望就労現場で介護県内

労福協開催

業界の人手不足歓迎

たことばかり。しっかりと勉強してもう一度働きたい」。同じくフィリピン出身の井ロシヨセリンさん(35)は「生活を安定させるため、長く続けられる仕事がいい」と話す。講座修了生に対する介護現場の評価も高い。県東部で介護施設を運営するある業者は「現在1人を雇用しているが、非常に意欲的で真面目。しっかりと勉強している就労希望者は、今後も国籍に関係なく採用していく」と話す。

労福協は「働きたいと

等々の能力を付けて現場に送り出したい」と力を込める。講座の需要は高まっており、将来的には県南部や県西部でも同様の支援講座を開講する方針だ。(矢田諭史)



介護職への就労を希望し、高いレベルの日本語を学ぶ外国人女性。徳島市昭和町3のヒューマンわーくぐびあ徳島